

7 令和3年度かねやまホームデイサービスセンター事業報告

《基本事項》

住み慣れた地域でご本人、ご家族の意向に沿った暮らしを実現するために、潜在的なニーズを把握して必要とされるサービスが提供できる事業所づくりに努める。また、随時、業務の見直しと改善を実行し、効率化の向上と共に安定した運営を目指す。

《重点事項》

1. 安定した経営のための取り組み

- ① 新規利用者の獲得と共に、報酬改定に合わせて新たに算定できる加算を取得することを目指す。
- ② 各支援事業者と連携し、個々の状態に合わせた適切な利用日数追加の提案やキャンセル待ち利用の調整を図り、稼働率の向上に努める。
- ③ 個別の計画に沿った利用が継続できるように、利用日当日のキャンセルを減少させるための働きかけを継続して行っていく。

年間で21件の新規利用があり、延利用者数が4,501人、1日平均で17.44人の利用があった。1月～2月にかけて利用実績が伸びず、目標値には僅かに届かなかったが、キャンセル率は5.75%に抑えることができた。また、新たな加算の算定にあたっては誤りなく確実に算定できるように取り組んだ。

2. サービス内容の見直し

- ① コロナウイルス感染症の影響により、これまで行っていた活動が制限される状況にあるが、新たな活動を立案して楽しみを感じながら参加していただけるようにする。
- ② 前年度に行った食費に係る経費の見直しについての経過を確認するとともに、ご利用者からの声も反映させて随時検討を行っていく。

外出や外部から慰問を迎え入れての活動は出来なかったが、歩行訓練に取り組むご利用者が増えたり、カフェスペースでの交流が広がりをみせていた。また、行事はこれまでの実施方法を見直して、工夫や新しい内容を取り入れて実施し好評であった。食費については行事と誕生会を組み合わせる等の見直しにより徐々に削減に向っており、職員がコスト意識を持つことにもつながった。

3. 安全への取り組み

- ① 「コロナウイルス感染防止マニュアル」に沿って、職員各自の確実な行動を徹底し、感染症を持ち込まないように取り組んでいく

② ご利用者の利用時以外の行動についても各支援事業所と情報を共有して、適切な対応をとれるようにすることで感染予防を図っていく。

決められた感染対策を徹底すると共に、各支援事業所と連携して外出やご家族の帰省時の情報等を共有し、必要に応じて検査や検温を実施して頂くようにすることで異常なく経過した。

一方で送迎時にご利用者を車両から降ろし忘れるといった事故が発生してしまった。猛省すると共に再発防止策を検討して、慣れによる意識の改善と安全の徹底を図った。